

【奥の深い翻訳作業】

アークテックコム株式会社で、翻訳とマニュアル作成を行っています。豊原 信です。



ウェブサイト：  
<http://arc-tec-com.com>

Tel : 050-6864-6201

Fax : 050-6864-6202

E-mail : m.toyohara@arcteccom.jp

## 機械翻訳と同時通訳的な翻訳

こんにちは。

今月も先月に引き続き翻訳のお話です。ここ半年くらい前から、翻訳文章の品質に対するクライアント様の要求が変化してきていることを感じています。

それと、恒例の『勝手応援メッセージ』です。

### 翻訳文章の要求品質

『日本語原稿に忠実に翻訳する。そして、文法上も誤りがない。』これが翻訳文章作成の大原則です。しかし、ここ半年くらい前から文節の順番や文字面に合わせて翻訳した文章は、文章の種類によっては幼稚な文章と評価される傾向があります。

これは、同時通訳と同じ手法の翻訳文章の作成方法です。内容のポイントは分かるが、正確な文章になっていません。ただし、翻訳スピードは速いです。

### マニュアルの文章の特徴

マニュアルの文章は、具体的な作

業指示の部分と商品の概要説明や機能等の技術内容を紹介する部分で構成されています。

メインの具体的な作業指示の部分では、文字面や文節の順番を変えることなく、日本語原稿に忠実に同時通訳的に翻訳します。結果はほとんど問題なくネイティブスピーカーに受け入れられています。

ところが、商品の概要説明や機能等の技術内容の紹介文章は、長文になり感性的な表現等も多くなります。そのため具体性が少し低くなります。同時通訳的な翻訳手法では、正式な文章作成が難しくなります。

### 一読して分かる翻訳文章

マニュアルの日本語文章に内蔵している内容や意味を一読して分かる翻訳文章を作成して欲しいという要望が増えています。この背景には、翻訳文章をネイティブスピーカーに評価してもらう機会が増えてきていることが考えられます。翻訳文章としては正

しいが、具体的な内容が欠けていると、いくらネイティブチェックを行ってもだめです。

### 原稿の見直し

最初に日本語原稿の見直しを行います。行間や背景を推測し、かつ分かりやすい翻訳文章作成ができるような日本語に書き直します。

具体的な内容の翻訳文章を作成するのが難しい箇所をすべて見直します。

### 翻訳者の厳選

日本語原稿の見直しの次は、翻訳者の選別です。日本語原稿の内容とクライアント様の要望に合った最適な翻訳者を選定します。

一つ目はスピード重視の場合、同時通訳タイプの翻訳者です。機械翻訳の最終チェッカーにも最適です。

二つ目は、行間や背景を推測し、かつ分かりやすい翻訳文章の作成ができるスキルを持つ翻訳者です。作業時間は多少必要になり

ます。  
三つ目は、読み手の対象が一般の消費者の場合は、こなれた翻訳文章が必要になります。ネイティブチェックを行い、完璧な翻訳文章になるように作業を行います。

### 結果、「三方よし」

この方法で翻訳した場合は、翻訳文章の品質が格段に上がり、クライアント様の海外市場のネイティブスピーカーさんから賞賛をいただいています。

\*\*\*\*\*  
今月の応援メッセージです。

### 「勝手応援メッセージ」

自分の固定観念から離れる。

特に、形的なことに囚われているような固定観念からは、さっさと離れる。

商売をさせてもらっている以上、お客様が何を、どのような形で望んでいるかにアンテナを立て、それに対して、純粋に対応する。その時、自分の固定観念は、邪魔である。

業界の常識や、形に囚われていると、お客様の要望に、純粋に対応できなくなる。

逆に、お客様に、こちらの常識と言う名の、都合を押しつけることになる。

であれば、お客様が、離れていくのは、必定・・・  
自分の固定観念から離れる。

特に、形的なことに囚われているような固定観念からは、さっさと離れる。

そもそも、どうしたいのか、どうすればいいのかを、固定観念から離れ、白紙の上に描く。

始めは、幼稚な仮説かもしれない。ただし、幼稚な仮説であっても、お客様が何を、どのような形で望んでいるかに向かっていることには違いない。

何度も、失敗しながらも、素直に事実を捉え、仮説を修正し、お客様の望んでいることに答えられたときに、商売は成功する。

だから、自分の固定観念から離れる。

特に、形的なことに囚われているような固定観念からは、さっさと離れる。

でも、これが中々出来ないのです。

自分の持っている常識、業界の常識に縛られてやって行くのが、一番簡単だから・・・

怖がりの人が、よく嵌るパターンです。

勇気を持って、自分の固定観念から離れる。

特に、形的なことに囚われているような固定観念からは、さっさと離れる。

あなたなら出来る。勇気を持って、歩み出そう・・・

じーっとして、終焉を迎えることはやめよう。

がんばれ！

今日も、しっかり応援していますから・・・

\*\*\*\*\*

固定概念は何処にあるかご存知ですか。心が持っています。これを剥ぎ取る必要があります。不安と恐怖に耐える勇気と考えが必要です。

これも【考え方】と【熱意】ですね。

京セラ創業者の稲盛和夫氏が教えられている次の公式に当てはまりますね。

【人生の成果／やり遂げる事の成果】＝【考え方 (-100~100)】×【熱意 (0~100)】×【能力 (0~100)】

豊原 信